

海外安全対策情報平成29年度第3四半期（10月～12月）

1 社会・治安情勢

9月15日以降、ムランジェ県において、自警団による殺人事件が多発し外国人を含む7名以上の死傷者が出ました。同地域の噂話である「Human Bloodsucker」を信じた住民が自警団を組織し、疑わしい人物に対して、独自の制裁を加えたことによるものです。ムランジェ県以外にも、チラズル県、パロンベ県、チョロ県、ンサンジェ県につきましては、住民の緊張が高いままですので、訪れる予定がある方は、被害に巻き込まれないよう十分に注意してください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 邦人被害事案

(ア) 11月23日午後8時頃、リロングウェ市エリア9付近において、徒歩で帰宅途中、ナイフを所持した2名に襲撃されました。左前腕を切りつけられ、所持品のパソコン、携帯電話、デジタルカメラ、バック、現金を強奪されました。

(イ) 12月3日午前11時頃、ブランタイヤ県からムジンバ県へ移動の高速バスに乗車し、ンチェウ県のガソリンスタンドでトイレ休憩のため下車した数分の間、自席上部に置いていたバッグを盗難されました。同バスの乗員名簿を確認しましたが、全ての氏名および連絡先は虚偽であり、担当した警察官によると同様な事件が数ヶ月で4件発生しています。

(2) 邦人以外の被害事案

(ア) 10月初旬頃、リロングウェ市エリア43において、長期休暇で帰宅したところ、パソコン、電化製品が盗難される事件が発生しました。自宅の鍵は使用人に預けており、使用人および警備員は犯行を否定していません。

(イ) 11月29日午前1時頃、リロングウェ市エリア43において、一軒家に空き巣が侵入し、隣接する警備員がアラームを作動させたため逃走する事件が発生しました。警備員によると空き巣は顔見知りであり、被害者宅で雇用されていた警備員の知人でした。その警備員は事件発生前に無断退職をしています。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件の発生情報はありません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は良好であるため、現時点では日本企業であることを理由に問題と

なる情報はありません。